



あと一步の向上に向けた取組

函館市立 銭亀沢中 学校

生活習慣・学習習慣の形成 基礎的・基本的な知識・技能の習得 望ましい学習態度の育成 学校組織・指導体制の改善

1 学力向上の具体的な方策

- ・家庭と連携した、学習習慣の定着を目指す取組
- ・放課後や長期休業中における学習サポートの充実
- ・T Tや学習ボランティアを活用した、個に応じたきめ細かな指導の充実
- ・朝読書の推進

2 取組の概要

「授業態度は良好ではあるが、今ひとつ結果に結びつかない」のが本校の実態であった。全国学力・学習状況調査結果を分析したところ、「学習習慣の定着」が課題として明らかになった。

そこで今年度は共通理解の下、全校で家庭学習ノート等を提出させ、添削・アドバイスをを行い、家庭と連携しながら「学習習慣の定着」に取り組んだ。春・秋の2回、生徒に実施している授業アンケートからは、まだ課題はあるものの、特に3年生で学習習慣の改善がうかがえた。

昨年度同様、放課後や長期休業中の学習サポート(通称「銭子屋」)にも力を入れている。放課後学習は、学習委員会が主体となり実施している。生徒は教科担任のアドバイスを受けながら、学習委員作成のテスト予想問題や、銘々が持参した学習物に取り組み、必要に応じて、学



年の先生や教科担任から指導を受けている。冬季休業中、3年生では連日20人以上が参加し、多い日には学年の約7割に当たる30人以上の参加も見られるなど、大変な盛況であった。今年度は、地域の人材を活用した英語の放課後学習も開設している。

T Tや学習ボランティアの活用による、個に応じたきめ細かな指導と、朝読書の推進と相まって、穏やかな中にも充実した学習環境が整いつつある。

3 成果(○)と課題(●)

○それぞれの取り組みが有機的に作用し始めており、成果がC R Tや全国学力・学習状況調査などの数値に反映されてきた。

●各種取り組みをブラッシュアップし、よりスピード感のある、より有効なものへと高める。